



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社パワーソリューションズ 上場取引所 東
 コード番号 4450 URL <https://www.powersolutions.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 忠郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 加藤 康男 (TEL) 03(6878)0284
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,349	10.9	344	△6.5	498	36.2	319	39.1
2022年12月期第3四半期	3,920	51.9	368	65.0	365	65.0	229	60.7

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 321百万円(39.1%) 2022年12月期第3四半期 230百万円(61.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	225.17	213.70
2022年12月期第3四半期	165.67	156.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,791	2,655	55.4
2022年12月期	3,419	2,288	66.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 2,655百万円 2022年12月期 2,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,137	15.5	428	△9.0	476	1.5	328	3.2	232.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期 3 Q	1,433,292株	2022年12月期	1,415,486株
② 期末自己株式数	2023年12月期 3 Q	4,846株	2022年12月期	4,799株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期 3 Q	1,419,697株	2022年12月期 3 Q	1,387,548株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)における我が国経済は、長期化している新型コロナウイルス感染症の影響、不安定なウクライナ情勢、資源や燃料をはじめとした世界的な物価上昇など依然として先行きは不透明な状況が続いております。その中で岸田政権は「資産所得倍增プラン」を掲げ、「貯蓄から投資」をスローガンに、家計金融資産を貯蓄から投資に回すためにNISAやiDeCoの拡充・改革を進めており、当社がターゲットとする資産運用業界に更なる成長が期待されます。

当社グループが主に提供するシステムインテグレーションサービス及びアウトソーシングサービスの主要販売先である金融業界の資産運用(投信・投資顧問)セクターにおきましては、顧客の経営戦略に伴って業務・事務負担が発生する毎に必要な対応やグループの統廃合によるシステムの統廃合など、業界全体として引き続き需要が高まっております。さらに、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)関連サービスの市場は依然として各種メディアでの注目度は高く、生産年齢人口の減少や新型コロナウイルス感染症拡大による働き方の変化によって、一層活用期待は高まっております。また、2020年4月以降、新型コロナウイルス感染症の影響による受注時期の遅延や予定されている見込み案件の凍結などが生じておりましたが、2021年度下期から新型コロナウイルス感染症による業績への影響は、解消しております。

このような経営環境のもと、採用範囲を拡大(多様な働き方を求める求職者を受け入れ)した積極的な採用強化・育成、ビジネスパートナー活用を行い、既存取引先の金融機関からの需要拡大による受注拡大や金融機関に留まらないあらゆる業界の企業との更なる新規取引の獲得、並びに業界特化型RPAサービス提供に向けた企画・販促活動をしてまいりました。また、2021年4月に子会社化した株式会社エグゼクションが主に提供するクラウド基盤領域についても需要増加を背景に事業を拡大しているほか、SaaSインテグレーションの推進を目的として2023年3月に豪州Sazae社と資本業務提携を締結しております。また、2023年4月にミニコンデジタルワーク株式会社の全株式を取得し、6月30日をみなし取得日としております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,349,130千円(前年同期比10.9%増)、営業利益344,202千円(前年同期比6.5%減)、経常利益498,244千円(前年同期比36.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益319,672千円(前年同期比39.1%増)となりました。

また、当社グループは、ビジネス・テクノロジー・ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,020,327千円増加し、3,737,492千円となりました。これは主として、現金及び預金が893,881千円増加、売掛金及び契約資産が133,352千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ352,488千円増加し、1,054,504千円となりました。これは主として、無形固定資産その他に含まれるソフトウェア仮勘定が126,596千円増加、i-n-e-s-t 1号投資事業有限責任組合へのLP(リミテッド・パートナー)出資と豪州Sazae社との資本業務提携の出資により投資有価証券が90,612千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ297,993千円増加し、1,422,653千円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金が200,000千円増加、賞与引当金が176,645千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ707,966千円増加し、714,098千円となりました。これは主として、長期借入金700,000千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ366,857千円増加し、2,655,245千円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が319,672千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年2月14日の「2022年12月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,344,902	2,238,784
売掛金及び契約資産	1,220,204	1,353,556
棚卸資産	28,654	26,698
その他	130,699	126,519
貸倒引当金	△7,295	△8,065
流動資産合計	2,717,164	3,737,492
固定資産		
有形固定資産	24,416	30,082
無形固定資産		
のれん	28,923	71,770
その他	82,280	197,247
無形固定資産合計	111,204	269,017
投資その他の資産		
投資有価証券	289,057	379,669
長期貸付金	5,066	5,066
敷金及び保証金	157,235	171,178
繰延税金資産	103,007	191,270
その他	17,095	13,285
貸倒引当金	△5,066	△5,066
投資その他の資産合計	566,395	755,404
固定資産合計	702,016	1,054,504
資産合計	3,419,181	4,791,997
負債の部		
流動負債		
買掛金	240,342	203,818
1年内返済予定の長期借入金	—	200,000
未払法人税等	140,792	172,890
賞与引当金	107,927	284,572
役員賞与引当金	36,000	44,850
受注損失引当金	2,158	704
その他	597,440	515,818
流動負債合計	1,124,660	1,422,653
固定負債		
長期借入金	—	700,000
退職給付に係る負債	—	7,976
繰延税金負債	6,131	6,121
固定負債合計	6,131	714,098
負債合計	1,130,792	2,136,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	399,304	405,053
資本剰余金	386,804	427,786
利益剰余金	1,513,006	1,832,678
自己株式	△11,802	△11,912
株主資本合計	2,287,312	2,653,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,076	1,639
その他の包括利益累計額合計	1,076	1,639
純資産合計	2,288,388	2,655,245
負債純資産合計	3,419,181	4,791,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,920,746	4,349,130
売上原価	2,605,705	2,888,427
売上総利益	1,315,041	1,460,702
販売費及び一般管理費	947,008	1,116,500
営業利益	368,033	344,202
営業外収益		
投資事業組合運用益	—	147,511
その他	53	8,496
営業外収益合計	53	156,007
営業外費用		
支払利息	—	1,964
投資事業組合運用損	2,269	—
その他	7	0
営業外費用合計	2,277	1,965
経常利益	365,810	498,244
税金等調整前四半期純利益	365,810	498,244
法人税、住民税及び事業税	210,406	264,039
法人税等調整額	△74,472	△85,468
法人税等合計	135,933	178,571
四半期純利益	229,876	319,672
親会社株主に帰属する四半期純利益	229,876	319,672

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	229,876	319,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,076	1,639
その他の包括利益合計	1,076	1,639
四半期包括利益	230,952	321,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,952	321,311

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。